

# スマートチェーンソーとは

林業における労働災害の減少を図るためには、安全対策の確実な実行が必須です。林業は事故や災害の発生率が著しく高い産業とされています。そこで、安全確保にチェーンソーの適切なメンテナンスも大切であることが問題定義の 1 つだとされています。

「つながるチェーンソー」「スマートチェーンソー」

「スマートチェーンソー」とは、スマートフォンや PC、ネットワークとつながることで、チェーンソーの使用場所、稼働状況などを把握することができ、さらに、データとして蓄積・分析することが可能であり、あらゆる管理に活用できるとされています。適切なタイミングでメンテナンスを受けられたり、機械トラブルの減少に繋がります。作業者の安全性を高め、メンテナンスコストを削減し、管理業務に効率を上げることができるとされています。



# 依田林業新聞

# 林業安全装備

林業を安全な仕事へと変える技術として注目を浴びている道具・装備の紹介です！！

発行所

(有) 依田林業  
塩山事務所



「騒音環境下作業者の緊急伝達装置」通称キツキハマー  
装着者の転倒等を探知し、ヘルメットの振動で SOS を受診できるシステム  
プラムシステム有限会社



無線端末「GeoChat」  
三軸加速度センサーを搭載することで、落下、転倒時などの自動 SOS を可能に。圏外でもチャットで通信できるシステム  
株式会社フォレストシ-



林業機械の遠隔操作、自動運転が可能に！「ラプトル」  
松本システムエンジニアリング(株)

前向きになれる一言  
やらないよりやったほうがまし。  
出来ないと思うと99%人はやらない  
50%でいいからまずはやってみる

日本初！ノンケミカルの苗木保護剤が 2022 年に誕生しました。シカの食害で苗木が全滅したという問題はどこでもあると思います。植栽後の苗に、通常のトウガラシの 20 倍もの辛み成分 (カプサイシン) と定着剤を組み合わせた液体「カプガードプラス」を散布することで、シカの食害はほぼ免れ、効果は絶大とのこと。天然由来成分のため、防護マスクは必要なく、人との距離を 20m 程置く配慮で済むという。触れても少しピリリとするくらいで、他に気を付けることは、風下に立たないということくらいで済むというから驚きです。

大切な山林を獣害から守ることも林業の役目です。シカ柵ネットや単木ネット、狩猟の他にもこうした商品が生み出されるのも、企業努力と山で作業をする人達との熱意と誇りがあってこそなのではないでしょうか。

物林株式会社・国土防災技術株式会社

資料 Forestjournal 参考



容量：10L (250~300本の樹に噴霧可能) ※希釈不要